

法後東のとのといへる形——を相といふは  
傳ふを寺家当社を勝喜山と稱を義家朝  
臣の御軍の地を賀——とるや下野西産祖  
海といふる僧大藏院住職より——以て  
うり詩あり

### 題勝喜山

勝喜山城雲幕間 疊密絶壁更難攀  
義公靡旆高名嶽 衡士膝骸矢澤灣  
治国太平千歲下 干戈靜謐万民閑  
弓神鎮護古今社 誓願日新救世艱

古人當社を以て武衛家衡戦死の地とせ先  
年社遷造のこの社地の古本を伐り中に  
は矢の根ちりあきてありけりけの代官  
小上りりとて社を古戦場なりと疑なりと  
いへる兄中たは仙心金沢の柵をて討れ  
事あり大平記奥羽軍記ふは要——りれは  
所を以て兄中戦死の地といふか——然  
いへる川系に兄中の墳墓あり又ふ二軒は  
二像あれを由緒なきともいへるを奥州軍記  
は將軍國解をまりて中村武衛家衡の孫